

全国 250 箇所に夢の桜が咲く Dream スポット誕生。 東京では山手線が 5200 以上の夢をのせて本日より走行！

- 全国の Dream スポットは「Dream マップ」から、ジェネレーターですぐ参加も可能-



April Dream 公式サイト：<https://aprildream.jp/>

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、叶えたい夢を4月1日に発信する文化を提唱する「April Dream」において、個人・企業・団体・自治体から集まった5274件の夢をJR山手線（1編成全11両）の車内に掲出する「Dream トレイン」の走行を2025年4月1日（火）より開始いたしました。また、約200の企業や団体がApril Dreamに賛同くださり、夢の発信や夢に出会える場「Dream スポット」が全国に250箇所以上（2025年3月28日時点）も誕生しています。

そして、日本中どこからでも夢を発信したり、見たりしてApril Dreamに参加いただけるDream スポットを日本地図から探せる「Dream マップ」や、SNSで発信したりデータベースに夢を残せる「Dream ジェネレーター」も公式サイトで公開中です。（※「Dream ジェネレーター」の公開期間は2025年4月15日まで）4月1日はApril Dream。わたしたちは4月1日が世界中の人にとって、叶えたい夢を発信することで、その夢の実現の一步を踏み出す日になることを夢見ています。

日本中から届いた5200以上の夢が山手線を彩ります。11号車は小学生の夢でいっぱい

4月1日は、April Dream。PR TIMESは2020年にApril Dreamを始動し、4月1日に夢を発信する新たな文化を提唱してきました。今年2025年は6年目となります。昨年初めて山手線を“夢の桜”でいっぱいにする「Dream トレイン」を実施し、「自分の夢が山手線に乗ることが、夢をことばにするきっかけになった」「ふと誰かの夢に出会うことで、夢を考える機会になった」「また来年も地方から、海外から山手線に夢を載せたい」そんなお声をいただきました。わたしたちは「Dream トレイン」として今年も日本中の夢で山手線をいっぱいになりたい！と2度目の実施を決断しました。「Dream トレイン」は誰かの夢に出会い、新たな夢がつながるシンボルとして、4月1日より東京の中心を巡ります。



全国の個人、および企業や団体に向けて「山手線にあなたの夢を掲げませんか？」と参加を呼びかけた 2025 年の April Dream 企画では、合計で約 5300 件の夢の応募がありました（個人の夢、企業・団体・自治体の夢）。集まった夢は、山手線（1 編成 11 車両）の車内の広告枠（中張りポスター132 枚、ドア横ポスター218 枚、トレインチャンネル 88 面、まど上チャンネル 180 面、サイドチャンネル 20 面）に、春を象徴する桜のデザインに載せて掲出。4 月 1 日（火）から走行を開始した山手線の「Dream トレイン」に乗車いただくことでご覧いただけます。

今年は、April Dream を知って約 300 名の全校生徒のみなさんの夢を届けてくださった小学校がありました。そこで、11 両目を“子どもたちの夢の車両”とし、ポスターデザインの夢すべてが小学校の生徒の皆さんの夢の桜で満開になっていきます。実際に、小学生のみなさんから届いた夢は、「僕は山手線の運転手になりたいです」「日本代表になってかつやくしたい」など電車に関する夢や、将来なりたいものに関する夢、自由な発想や表現に、和んだり、はっとさせられたり、新たな夢の気づきがあるかもしれません。また、11 両目だけでなく各車両には全国の子どもたちの夢の桜が咲いています。



11 両目の“子どもたちの夢の車両”

たとえ名前も顔も知らない誰かの夢でも、年齢も性別も地域も飛び越えて届いていく。“いつか叶えたい”と信じるまっすぐな思いと行動は、きっと誰かとつながってひろがって、夢の実現の後押しになるはず。ぜひこの春「Dream トレイン」に咲く満開の桜を通じて、たくさんの夢と出会っていただけたら嬉しいです。

<夢の桜を山手線に咲かせる Dream Train 概要>

掲出路線：JR 山手線

掲出期間：2025 年 4 月 1 日（火）～4 月 15 日（火）

掲出車両：JR 山手線（1 編成全 11 両）

※編成や運行情報等について、鉄道会社や駅係員へのお問い合わせはご遠慮ください。

※運行期間は予定であり、予告なく変更・中止となる場合がございます。

※運行期間中であっても運休となる場合がございます。



Dream トレインで自分の夢を指す ゆきちゃん（左・小学 4 年生）とよしき君（右・小学 1 年生）

250 箇所以上の Dream スポットを地図上でいつでもどこでも夢が見られる「Dream マップ」を公開

「4 月 1 日を日本中を夢の桜でいっぱいにする。」そんな April Dream の思いに共感し、一緒に夢の発信を呼びかけたりすることで、夢の発信を応援する取り組みを実施いただく企業・団体・個人の方を「Dream パートナー」として広く参画を呼び掛けてきました。現在約 200 のパートナーとともに April Dream の夢の日をつくっています。また、夢を書くことができる桜カードは累計 4 万枚以上配布させていただきました。



<日本地図から夢を見たり、発信したりする場所を探せる「Dream マップ」>

4 月 1 日に日本中が夢であふれていく様子を「Dream マップ」で見ながら、実感して楽しんでいただけるものをつくりたい。そんな思いから、全国に広がる Dream パートナーとともにつくる“夢見スポット”を地図上で見てわかるよう

に、夢を書いた桜を表示するマップを地図アプリケーション（Google マイマップを使用）により Web 上で公開しています。April Dream に賛同しそれぞれ独自の取り組みで夢の発信を応援していただく Dream パートナーとつくる夢見スポットをどこに行けば見られるのか、地図上でいつでもどこでも April Dream に参加することができます。

Dream マップは[こちら](#)からご覧いただけます。

※Google Map が開きます

みなさんの暮らす街が、思い出の場所が、故郷が、行ったことのないあの場所が、もしかしたら Dream スポットになっているかもしれません。

※実施期間や参加可能（夢を書く・夢を見る）対象者は各スポットごとに異なります

※本件に関して Dream パートナーやスポットに直接のお問い合わせはお控えください

SNS でも夢を発信！「Dream ジェネレーター」で夢を書くと、公式サイトに夢の桜が咲く

「Dream ジェネレーター」について

公開期間：2025 年 4 月 15 日まで

URL：<https://aprildream.jp/dreamgenerator/>

Dream スポットに足を運ぶことが難しい方でも桜に夢を書いて発信していただけるように、April Dream の Web サイト上で「Dream ジェネレーター」を 4 月 15 日までの期間限定で公開しています。Dream ジェネレーターを使うと、どこでも誰でも桜に夢を書いて全世界に発信することができ、発信された夢は 4 月 1 日から April Dream 公式サイトトップページで満開に咲き誇ります。

あなたの夢も Dream ジェネレーターで全世界へ発信してみませんか？



Dream ジェネレーターで夢の桜を作れます

「Dream データベース」について

公開期間：いつでも

URL：<https://aprildream.jp/database/>

Dream ジェネレーターで発信していただいた夢は「Dream データベース」に保存され、いつでも誰でもみんなの夢を見られるようになります。Dream データベースを使うと、キーワードで夢を検索したりカテゴリや都道府県で絞り込んで探すこともできます。Dream データベースに保存された夢の桜は X や LINE、Facebook などの SNS でシェアしたり、ダウンロードして印刷することもできるので、自分の夢を SNS やリアルな場で発信したり、応援したい夢を探してみるのもオススメです。

※山手線の掲出の夢は 4 月 1 日以降、データベースにも順次反映されます。



Dream データベースの表示イメージ

April Dream について

PR TIMES は、4 月 1 日に企業・自治体・各種団体・個人の夢を「April Dream (エイプリルドリーム)」として発信する新たな文化を提唱しています。発信することが、自分自身への決意になるかもしれない。発信することで、思わぬ協力者に出会えるかもしれない。April Dream の機会に夢を言うことで、夢実現の一步になると信じ、夢を発信できる場をつくり、呼びかけています。

April Dream 公式 SNS アカウント

X (@AprilDream0401)

Instagram (@aprildream0401)

Facebook (@aprildream0401)



April Dream メンバーより

プロジェクト責任者 メディアリレーションズグループ長 渡邊梨夏子

いよいよ4月1日。AprilDreamを通じてたくさんの夢が日本中から発信される、特別な1日をこうして迎えられることを嬉しく思います。2025年のテーマは『"みんなの"エイプリルドリーム』。

これまで夢を語ってくださった方々や、初めて April Dream に出会って夢について考えてくださる方、夢をもっと広げたい！と色々な形で夢の発信の場を一緒につくるパートナーの皆様。たくさん夢のチカラにわたし自身が後押しされました。今年の企画は、東京の中心を走る「Dream トレイン」、日本中を夢の桜でいっぱいにするマップ、手紙のインフラであるハガキ、どこからでも参加できるジェネレーター、そして企業の皆様からの夢のプレスリリース。なんだか盛りだくさんですが…（笑）みんなで、誰でも、一緒に参加できることにこだわりました。ぜひ笑える夢でも、真剣な夢も、いつか叶えたい夢を、それぞれの場所から届けていただけたら嬉しいです。発信することで思いが誰かに伝わり、実現に向けて一歩踏み出すきっかけになると信じて、April Dream は誰でも夢を発信できる4月1日を作り続けていきたいと思っています。郵便局は各地域において誰にでも開かれた場所で、手紙やハガキを通して、大切な誰かに思いを届けることができます。ぜひ郵便局で Dream ハガキを受け取っていただき、お近くのポストに、みなさんの思いや決意が込められた夢を投函していただくと嬉しいです。

**VPoE 第二開発部長 櫻井 慎也**

日常生活の中で夢を発信することがあるという方はあまり多くないのではと思います。私自身も自分の夢を語るということにハードルを感じてしまって、夢の発信はもう何年もできていませんでした。4月1日という特別な日だからこそ、ウソではなく、夢を発信してみるということがとても大切なことだと思います。行ったことのないあの場所に行きたい、大好きなあの人を応援したい、夢の価値に大小はなく、どれも等しく素晴らしいものです。Dream ジェネレーターを使えばどこでも誰でも、桜に夢を書いて発信することができます。あなたの夢を桜に乗せて発信してみませんか？



株式会社 PR TIMES について

PR TIMES (読み：ピーアールタイムズ) は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は 10 万 5000 社 を超え、国内上場企業の 60% 超 に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者 2 万 7000 人超、サイトアクセス数は月間約 9000 万 PV、プレスリリース件数は月間 3 万 9000 件超、累計で 200 万件 を超えています。全国紙 WEB サイト等含むパートナーメディア 260 媒体以上 にコンテンツを掲載しています (2024 年 11 月時点)。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、「isuta」「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行えるカスタマーサポートツール「Tayori」など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社 グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES (東証プライム 証券コード：3922)

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」 (<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
- アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営
- カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
- 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
- プレスリリース専用エディター「PR Editor」 (<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>